

報道関係各位

2023年11月21日
株式会社 eve autonomy

【イブ・オートノミー】
**ヤマハ発動機の自動搬送ロボットと「eve auto®」を連携した
実機デモンストレーションを「2023 国際ロボット展」で初披露**
～導入事例のご紹介や同時開催されるオンライン会場の展示、
オンラインウェビナーの登壇も～

株式会社 eve autonomy（イブ・オートノミー、静岡県袋井市、代表取締役：星野 亮介、以下「eve autonomy」）は、11月29日（水）から12月2日（土）まで、東京ビッグサイトで開催される世界最大級のロボット・トレードショー「2023 国際ロボット展（iREX2023）」（主催：一般社団法人日本ロボット工業会、日刊工業新聞社）のヤマハ発動機ブース内において、「運ぶ」の未来図として“ μ to km”（マイクロからキロメートルまで）のテーマのもと、自動運転技術を活用した屋外対応の無軌道型自動搬送車両「eve auto®」（イブ・オート）とヤマハ発動機の開発する工場内自動搬送ロボットと連携した実機による搬送デモンストレーションを展示いたします。また同時に開催されるオンライン会場への出展、ウェビナーのスピーカーとしても登壇し、eve auto®の特徴や導入事例などを詳しくご紹介します。「eve auto®」 <https://tinyurl.com/49p3ezz4>



2023 国際ロボット展での展示ブーステーマ“ μ to km”（マイクロからキロメートルまで）



ヤマハ発動機展示ブース（イメージ）



屋外対応の自動搬送サービス「eve auto®」本体

● 展示会場での見どころ（東4ホール E4-18）

ヤマハ発動機ブースでは、“ μ to km(マイクロ・トゥ・キロメートル)～Robotics Transportation～”というテーマのもと、東4ホール E4-18にて「運ぶ（搬送）」をテーマとする様々な製品・サービスを出

展します。

その中で eve autonomy は、これから人手不足が深刻化するにもかかわらず工場や物流施設において自動化・無人化が難しかった屋外における搬送を、最先端の自動運転技術を活用して実現しているサービス「eve auto[®]」（イブ・オート）を展示いたします。

eve auto[®]は主に工場や物流施設の屋内外において、「今日から、自動化」をコンセプトに環境への工事不要でスタートできるガイドレス自動搬送システムです。屋外における雨天などの天候環境、段差や傾斜といった路面環境の厳しい条件下でもレベル4の自動運転を実現し、既に多くのお客様に提供しています。

展示ブースでは、eve auto[®]の実際の動きや操作方法、導入のプロセスやサポートおよび自動運転保険などのサービス内容、また実際の eve auto[®]導入企業様の事例など、工場や物流施設で屋外搬送の自動化を検討する来場者の方々へ詳しくご説明します。さらには、“μ to km”次世代搬送トータルソリューションの新たなスタイルとして、eve auto[®]が運んだワークを、ヤマハ発動機の開発する協働ロボット×組み立て型タフネス AGV「COW-el」が受け取り、さらにリニアコンベアモジュール「LCMR200」とスカラロボット、ビジョンシステムなどで構成される検査機に投入するまでの搬送全体の自動化デモンストレーションを実施します。



eve auto[®](左)、COW-el AGV(中)、LCMR200(右)の連携による自動化ソリューションのデモ (イメージ)

【展示会場概要】

展示会：2023 国際ロボット展 (iREX2023)

会場：東京ビックサイト

会期：2023年11月29日(水)～12月2日(土)

ブース：東4ホール E4-18 ヤマハ発動機ブース

開催時間：10:00～17:00

入場料：1,000円 ※入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料

● オンライン展示会

【展示会場概要】

会場：オンライン展示会「iREX ONLINE」<https://irex.nikkan.co.jp/booth/yamaha-motor>

会期：2023年11月22日(水)～12月15日(金)

入場料：無料 [登録制]

● オンラインセミナー

【開催概要】

開催時刻：2023年11月27日(月) 14:30~15:10

タイトル：屋内外対応自動運転サービス「eve auto」のご紹介

出演会社：ヤマハ発動機株式会社

会場：オンライン会場 <https://irex.nikkan.co.jp/webinar/detail/613>

配信形式：YouTube

【概要】

工場や物流施設において、これまで屋外における搬送の自動化は、雨などの天候や坂段差などの路面環境の厳しさから自動搬送が実用化されてこなかった分野でした。eve autonomy は高い信頼性を誇るEV カートをベースとして、一般公道においても活用される自運転システムにより、環境への工事なしに屋外自動搬送を実現するサービス「eve auto」を提供しています。本講演ではeve auto の特徴や実際の現場でどのように活用されているか実際の導入事例、そして導入にむけてのステップなどを詳しくご紹介いたします。

【登壇者】



株式会社 eve autonomy

事業開発部 マーケティンググループ マネージャー

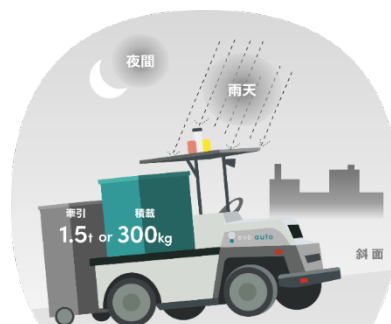
龍 健太郎

2015年より自動運転やサービスロボットの事業化を手掛け、空港での自動運転実用化にむけた活動や宅配ロボットの法制度化・業界団体設立に携わる。

● 屋外自動搬送サービス「eve auto®」について

<https://tinyurl.com/49p3ezz4>

eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせず自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されているEV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル4での無人搬送運用を実現しているため、24時間稼働が求められる施設での運用も可能です。



自動運転EVを活用した屋外対応の自動搬送ソリューション「eve auto®」

【主要スペック】

サービス名／車両	eve auto(イブ・オート)／FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッテリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17%）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12%）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携等を実現する Bluetooth 通信機器

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://tinyurl.com/49p3ezz4>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://tinyurl.com/w3cefhmn>

● 2023 国際ロボット展について

【開催概要】

名 称： 2023 国際ロボット展 [INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023 (iREX2023)]

テ ー マ： ロボティクスがもたらす持続可能な社会

開催趣旨： 国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、
利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。

主 催： 一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

公式サイト：<https://irex.nikkan.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy 事業開発部

TEL：0538-37-9304

Mail：mk@eveautonomy.com

Web：<https://tinyurl.com/2rnzvmw2>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県袋井市久能 3001-10 代表取締役社長：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。